

—「小さな拠点」づくり フォーラムin東京—

## 高知県における「小さな拠点」の取り組みについて



平成26年11月28日

高知県 中山間地域対策課



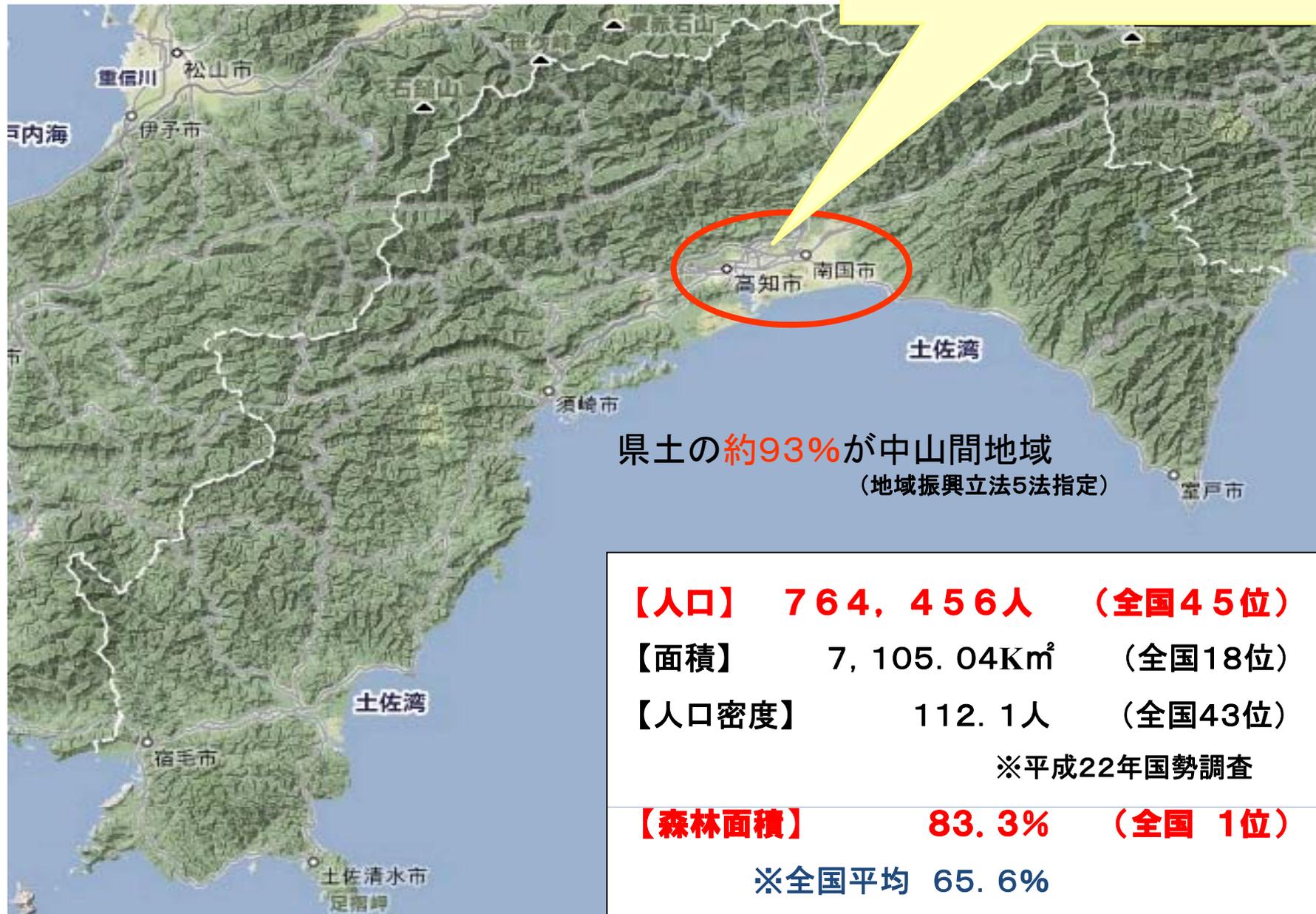
# 1 中山間地域の現状

---

- 高知県の現況
- 高知県の地形の特徴
- 中山間地域の課題
- 集落調査の実施



## ■高知県の現況



## ■高知県の地形の特徴

### ◇山間部



V字型の地形(山・川・山)



平地が少ない



家屋が斜面に点在

### ◇海岸部



山と海との距離が近い



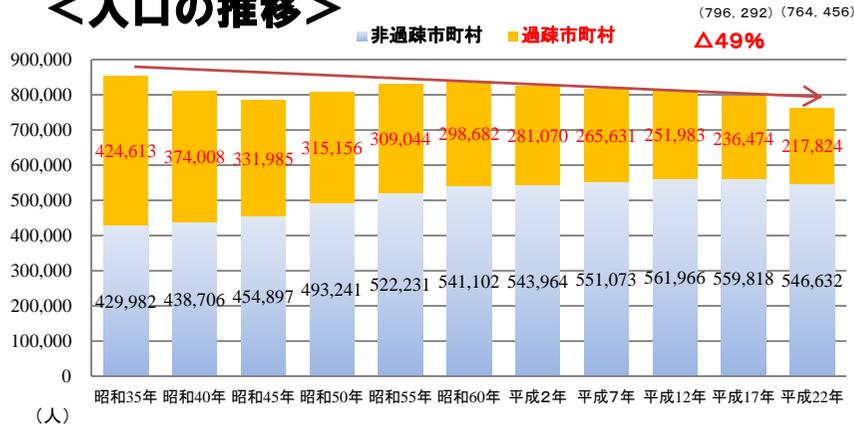
平地が少ない



# ■中山間地域の課題

## ●人口の減少

### <人口の推移>



◇過疎地域の人口は、昭和35年から継続的に減少。  
50年間で約20万人も減少(△49%)

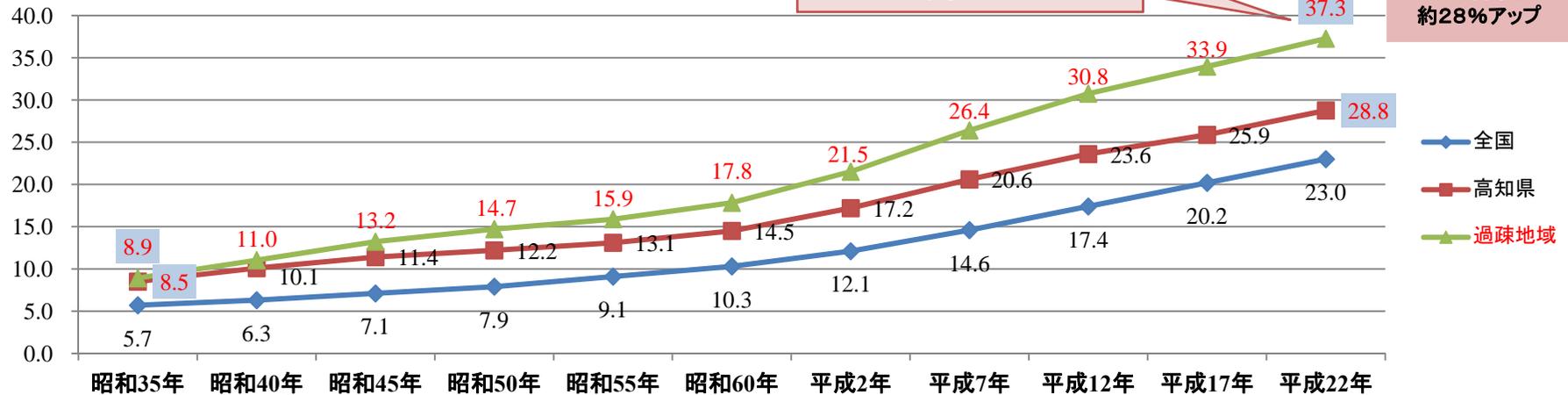
### <集落の世帯数の推移>



◇直近の10年間で20世帯未満の小規模集落が増加  
9世帯以下...158(H12)→246(H22) 10~19世帯...366(H12)→405(H22)

## ●高齢化の進行

### <高齢化の推移>



◇本県の高齢化率は、28.8%。【全国平均 23%。全国で3番目の高率】  
◇過疎地域の高齢化率は、37.3%で、県平均より更に8.5%も高い。

# ■ 集落調査の実施

## 集落調査（平成23年度実施）

中山間地域の実情や住民の思いを把握し、本県の過疎対策に反映

### 集落データ調査

・H22国勢調査の結果を踏まえ、市町村や集落ごとの人口、世帯、高齢化率等について調査・分析を実施

■調査対象数  
2,537集落

■データ内容  
・県、市町村の人口、高齢化率の推移  
・集落数などの推移

新たに実施 +

### 集落実態調査

#### ①集落聞き取り調査

中山間地域等の50世帯未満の集落(1,359集落)を対象に、実際に地域に入り、集落の代表者から聞き取り調査の実施

#### ②世帯アンケート調査

集落聞き取り調査を実施した集落の中から、各市町村と協議し、2~3集落を抽出して、アンケート調査を実施。  
(109集落の20歳以上)



地域の実態、地域の方々が直面している課題

集落の状況

#### ● 将来、集落を維持できない

・集落が10年後に消滅している、衰退している・・・75.1%

#### ● 集落での共同作業やコミュニティ活動が継続できない、又は衰退している

・今後の集落の共同作業等が維持できない、わからない・・・66.9%

#### ● 人材の確保ができない

・リーダーがいない・・・25.8%    ・後継者がいない・・・36.8%

集落維持の危機

生活

#### ● 日常生活に欠かせない生活物資の確保することが難しい

・生活用品の確保で困っている、課題がある・・・63.1%

#### ● 病院や役場などへの移動手段が確保できない

・60歳以上で運転していない人・・・40%    ・移動手段がない又は不便・・・17.7%

#### ● 飲料水の確保することが困難になっている

・集落等で管理する施設を使用・・・40.9%    ・施設維持が課題・・・52.7%

生活環境の悪化

産業

#### ● 農林漁業の不振

・集落の基幹産業が衰退・・・85.2%    ・産業振興に繋がる資源がない・・・72.1%

#### ● 基幹産業の後継者がいない

・集落の主となる産業の後継者がいない、わからない・・・77.1%

#### ● 耕作放棄地、手入れをしていない山林の増加している

・耕作放棄地がある・・・65.0%    ・手入れされていない山林がある・・・69.4%

#### ● 野生鳥獣による被害の増加

・野生鳥獣による農林被害を受けている・・・94.3%

産業の担い手不足と雇用の場の不足

厳しい!生活実態にも関わらず、住民の思いは、

#### ● 地域(集落)への思い

・地域に「愛着」や「誇り」を感じている・・・93.0%    ・今後も住みたい・・・76.7%

思いの実現

過疎地域で引き続き生活することが困難になっている

## 2 集落活動センターの概要

- 集落活動センターとは！！
- 集落活動センターの仕組み
- 集落活動センターのポイント
- 集落活動センターの概要
- 集落活動センターの設置のイメージ



## ■ 集落活動センターとは！！

地域住民が主体となって、旧小学校や集会所等を拠点に、地域外の人材等を活用しながら、近隣の集落との連携を図り、生活、福祉、産業、防災などの活動について、それぞれの地域の課題やニーズに応じて総合的に、地域ぐるみで取り組む仕組み

### 高知県の「小さな拠点」の取り組み

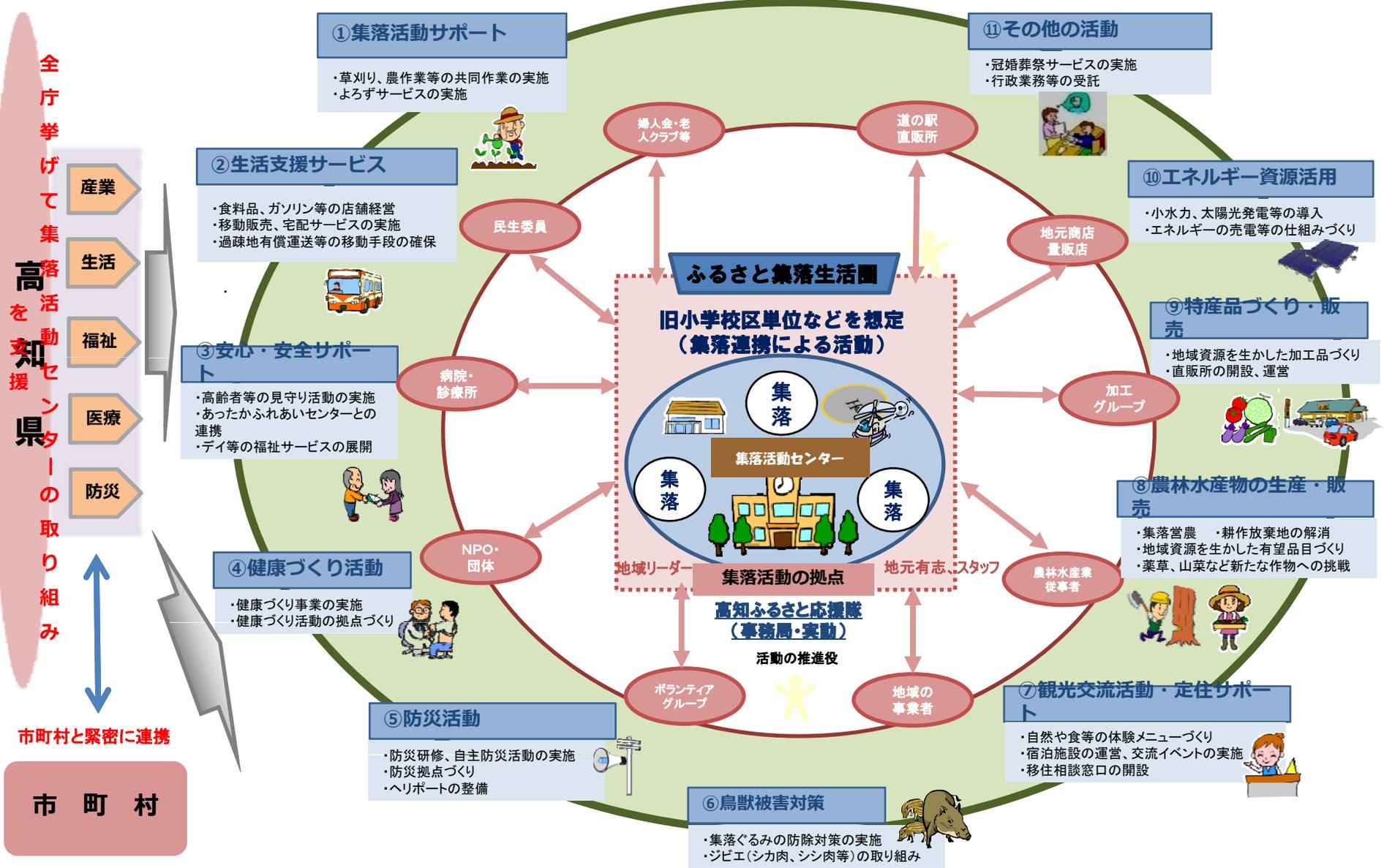
「集落の維持、再生」に向け、地域の活性化や、支え合いの仕組みづくりなど取り組む**ソフトの仕組みづくり**

- ・単なる施設や機能の集約化や施設整備といった、ハード的な取り組みを主眼としない。
- ・住民力を活用した、新たな官・民・地域協働による地域づくり活動やサービス提供の仕組みづくりを目指した取り組み

**拠点(集落活動センター)づくりは、あくまでも「手段」であり、目的は、集落を維持・再生するための仕組みを作ること！！**

# ■ 集落活動センターの仕組み

## 集落活動センターを核とした集落維持・再生の仕組みづくり



## ■ 集落活動センターのポイント

### ① 拠点をつくる

- ・廃校や集会所などを活用して、住民同士が集い、交流するなど、様々な活動を実践する地域の活動拠点や、交通の連結点や福祉などの生活サービスの拠点となる場所をつくる。  
⇒暮らしを守る心の拠り所、未来を拓く希望の拠点

### ② 主役は、地域の住民の皆様

- ・行政主導ではなく、住民自らが主体となって、それぞれの取り組みを進める。  
⇒行政はサポート役に徹する(放り任せでなく、しっかりと見守る)

### ③ 活動は地域のオーダーメイド

- ・地域の抱える課題を解決したり、住民の思いや、やりたいことを実現するため、住民の発意、アイデア、提案を、実際の取り組みに繋げる「オーダーメイド」により、取り組みを進める。  
⇒それぞれの集落活動センターで取り組みは異なる

### ④ 地域外の人材などを活用

- ・集落活動センターの推進役として、地域の活性化に向けた活動に、住民と一緒に取り組む人材を地域外から導入する。(Uターンを含む)  
⇒将来的には、集落活動センターや地域活動・産業活動の担い手としての定住

### ⑤ 近隣集落による連携

- ・近隣の集落が互いに助け合い、連携しながら、単独集落で難しくなったコミュニティー活動や共同作業、支え合い活動を地域づくりで取り組む。  
⇒まとめ(ふるさと集落生活圏)は、絆が深い旧の小学校区単位や旧の町村単位を想定

# ■ 集落活動センターの概要

## 目的

- 中山間地域等の集落の維持、再生
- 将来の担い手となる人材の確保、育成

## 運営主体

- 地域住民等が主体となって運営する組織  
(住民自治組織、NPO団体、商工会、社会福祉協議会等の地域団体など)

## 活動内容

- 共同作業、伝統行事など、集落活動のサポート
- 地域で課題となっている福祉や生活面でのサービス提供活動
- 地域でお金が循環する経済的な活動

## ふるさと集落生活圏



## センターの機能

- 住民の心の拠り所やサービス提供の拠点、人・モノの流れを生む機能
- ◇ 住民にとっての拠り心、集いの場
- ◇ 住民活動の拠点
- ◇ 市町村の中心部や端の集落との連結点
- ◇ 交通、福祉、防災等の機能の拠点

## 集落活動センター

仕組みづくりの推進役  
高知ふるさと応援隊  
仕組みづくりのサポート

エネルギー資源活用

特産品づくり・販売

農産物の製造販売

交流・定住サポート

鳥獣被害対策

防災活動

健康づくり

安心安全サポート

生活支援サービス

集落活動サポート

## センターの要件

- 集落活動センターを運営する組織が存在していること
- 実際に活動に着手していること
- 集落活動センターの設置について地域住民の総意があること
- 将来を含め、市町村の支援体制が整っていること

## 運営体制

- 地域リーダー
- 高知ふるさと応援隊  
(地域外の人材、地域内の人材)
- その他、地域の有志(有償、無償)

# ■ 集落活動センターの設置のイメージ

